

泉南市都市公園等管理運営プラン（案）概要版

1.計画の背景と目的

泉南市内においては、都市公園、児童公園、その他公園を合わせて151ヶ所の公園があります。しかしながら、多くの公園は高度経済成長期の昭和30年代から40年代における急激な人口増加に伴い開設されており、人口減少や少子高齢化に伴い、求められるニーズが異なったものとなっています。

本計画は、公園の利用状況や公園施設等の現状把握を行い、効果的・効率的に管理運営を進めるためのものです。

2.計画対象と計画期間

本計画は、令和6年度から令和15年度の10年間を計画期間とし、必要に応じて計画の修正、見直しを行います。

計画対象区域は、本市全域とします。

4.公園を取り巻く現状

(1) 公園整備状況

公園全体では138箇所、51.48haが開設済みです。1人当たりの都市公園面積は8.75㎡/人であり、泉南市みどりの基本計画（2019年）の目標を達成しています。

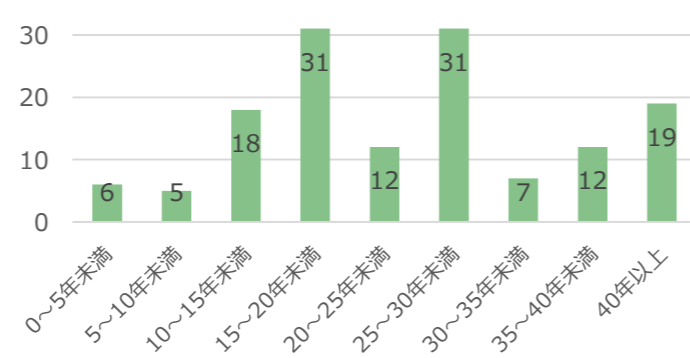
種別	箇所数(箇所)	面積 (ha)	1人あたり面積(㎡/人)
街区公園	131	12.61	2.14
近隣公園	4	6.05	1.03
総合公園	1	25.85	4.39
都市緑地	2	6.98	1.19
都市公園計	138	51.48	8.75
児童遊園	10	0.31	0.05
開発公園	4	0.09	0.02
農業公園	1	10	1.70
都市公園等計	153(151)	61.88(54.9)	10.51 (9.33)

3.対象とする公園

本計画では、泉南市が管理する都市公園（街区公園、近隣公園、総合公園）、児童遊園、開発公園、農業公園を本プランの対象とします。

(2) 開園からの経過年数

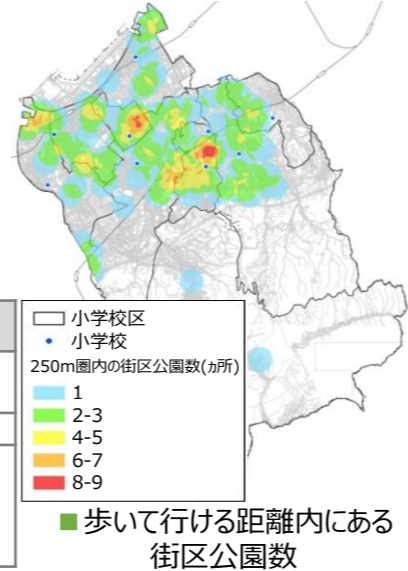
開園から15年以上経過している公園が多く、今後老朽化対策を含めた施設の安全管理がより一層重要になってきます。



(3) 公園配置状況

小学校区別に見ると5000㎡以上の公園がない校区がみられます。

また、各校区がどれくらい公園の誘致圏に含まれているか（誘致圏カバー率）をみると、西信達・雄信小学校は誘致圏カバー率が他の地域に比べて低く、公園に歩いて向かえない地域が多く存在することがうかがえます。また、一部地域では多くの街区公園の誘致圏が重なっており、公園の配置に偏りがあるといえます。



■各校区内の公園と誘致圏カバー率

校区名	西信達	一丘	新家	新家東	砂川	東	信達	樽井	雄信	鳴滝
1,000㎡以上の公園数	2	2	8	5	2	0	5	3	4	3
公園合計数	17	3	17	10	24	2	29	16	19	14
公園誘致圏のカバー率(市街地領域のみ)	77.82%	87.87%	99.21%	100%	99.95%	-	90.96%	86.23%	62.90%	97.53%

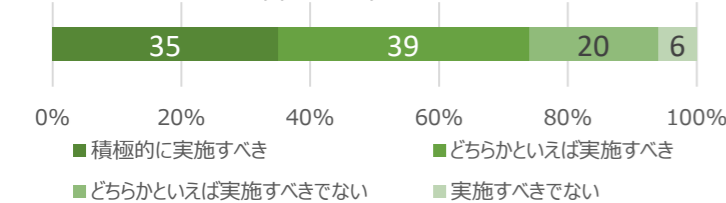
5.公園に関するニーズ調査

5-1 泉南市公共施設等最適化推進実施計画「泉南市公共施設等の利用に関するアンケート調査」

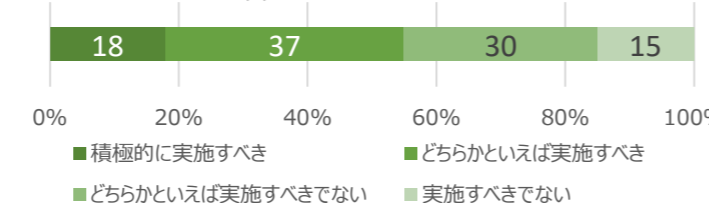
【インフラの今後のあり方に関する意見】

インフラ（道路・陸橋・公園・下水道など）について将来にわたって安全な状態で提供しつづけるための方策についてどう思いますか。

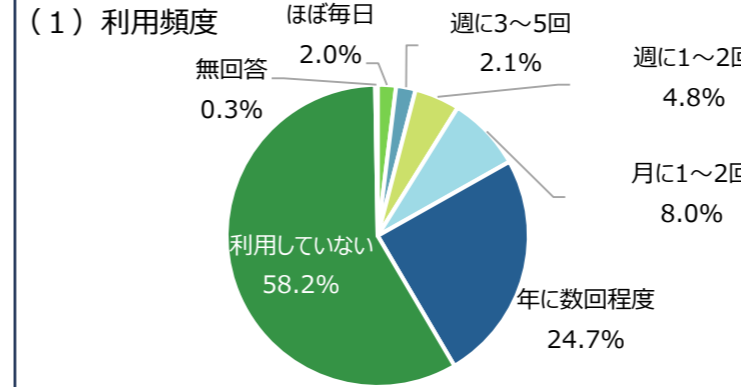
方策① 既存の公園や歩道橋等の必要性を精査することで数を減らし、維持管理費を軽減する。



方策② 地域活動に密着した小規模な道路や公園は、地域住民等が維持管理を行う。



5-2 市民アンケート



(2) 公園について満足なこと（3つまで回答） n=766

順位	項目	合計	割合
1	子どもたちの遊ぶ場になっている	230	30.0
2	満足していることはない	225	29.5
3	のんびり自分の時間を過ごせる	111	14.5
4	きれいな自然に親しめる	102	13.3
5	地域の憩いの場になっている	72	9.4
6	スポーツ・運動に親しめる	68	8.9
7	ペットとの時間を楽しめる	64	8.4

※回答の多い上位7項目を抜粋

(3) 公園について不満なこと（3つまで回答） n=766

順位	項目	合計	割合
1	公園の清潔さ	248	32.4
2	公園の老朽化	218	28.5
3	トイレの数・有無	157	20.5
4	トイレの清潔さ	154	20.1
5	休憩所（東屋、ベンチ）の数	148	19.3
6	遊具の数	110	14.4
7	ルールの厳しさ（ボール遊びができない等）	78	10.2

※回答の多い上位7項目を抜粋

(4) よく利用している公園（1位から3位を回答） n=318

順位	公園名	合計
1	りんくう南浜公園	80
2	農業公園「花咲きファーム」	48
3	俵池公園	38
4	新家楠台1号公園	22
5	牧野公園	21
6	樽井公園	18
7	新家公園	15

※回答の多い上位7公園を抜粋、合計は1位から3位の回答を合算した値を示す

(5) 公園をより魅力的にするためのイベント（上位3公園）

りんくう南浜公園	俵池公園	農業公園「花咲きファーム」
今のままで良い (41.7%)	今のままで良い (61.5%)	キッチンカー等の飲食イベント (19.7%)
キッチンカー等の飲食イベント (33.3%)	マルシェ等の物販イベント (19.2%)	マルシェ等の物販イベント (17.2%)
マルシェ等の物販イベント (22.9%)	キッチンカー等の飲食イベント (11.5%)	今のままで良い (13.8%)

※()は回答数の内、項目が占める割合を示す

(6) 公園をより魅力的にするための施設（上位3公園）

りんくう南浜公園	俵池公園	農業公園「花咲きファーム」
野外休憩スペース (27.1%)	幼児・児童向けの遊具 (26.9%)	カフェ等の飲食店 (24.2%)
屋内休憩スペース (22.9%)	屋内休憩スペース (23.1%)	今のままで良い (9.4%)
幼児・児童向けの遊具 (22.9%)	健康づくりができる遊具 (23.1%)	野外休憩スペース (8.6%)
カフェ等の飲食店 (22.9%)	カフェ等の飲食店 (15.4%)	大型複合遊具 (7.6%)

※()は回答数の内、項目が占める割合を示す

5-3 小学生アンケート

(1) 公園について、「もっとこうしてほしい」と思うことはありますか

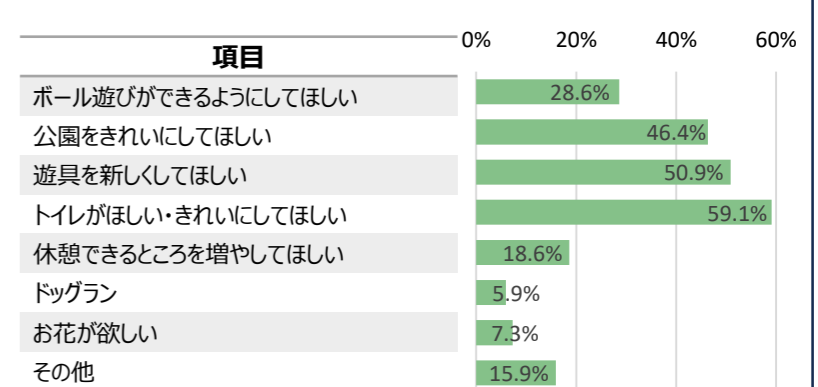
■全体

トイレの設置や増設と答えた生徒が最も多く、また遊具・清掃についての意見が上位に挙がりました。

■小学校別

特に信達・砂川・新家東小学校でトイレの設置や増設が支持されています。

そのほかにも雄信小学校では遊具を新しくしてほしいという意見や、鳴滝小学校では公園をきれいにしてほしいという項目が上位に来るなど、今後は各地域の現状と課題に沿った施策が必要ながうかがえます。



(2) 新しい公園をつくらしたら、どう思いますか。

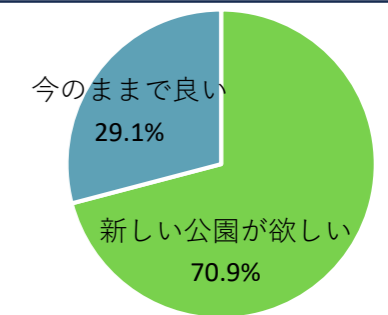
■全体

全体では70%以上の生徒が「新しい公園が欲しい」と回答しています。

■小学校別

特にニーズが高いのは西信達小学校で、90%を超えています。

その一方で、砂川小学校や新家小学校は今のままで良いと回答した生徒が半分近くに登りました。



6. 泉南市の公園の分析結果

- 公園は生活にうまいやすらぎを与える空間であるとともに、地域のニーズに応じて多様な機能を発揮する場所です。本市には数多くの公園があるものの、市民に十分に利用されているとは言えず、使いたくなる魅力ある公園が少ない状況となっています。その中で、面積が比較的大きい公園は多くの市民に利用されています。
- 今回のアンケートで維持管理水準の向上や、公園施設の拡充を求める声を多くいただきました。公園を利用する機会が多い小学生からは特にトイレの増設が求められています。
- 人口減少に伴い財政的に厳しい局面にある本市において、全ての公園の管理・整備レベルを上げることは困難です。そのような状況でも魅力ある公園を増やし、公園が持つ機能を効果的に発揮させるためには、利用状況などに応じた維持管理・整備レベルの設定や管理形態の見直しによる維持管理費の削減、公園の配置・機能の集約などを行っていく必要があります。

7. 目指すべき公園の未来と基本方針

みんなが主役、みんなの公園

基本方針1 みんなで支える公園（維持管理）

- ◆ 多様な主体と手法を取り入れることで、市民が使いたくなる公園を将来にわたって守ることができる持続可能な維持管理体制を実現します。

基本方針2 みんながつながる公園（活用促進）

- ◆ 公園で様々な活動ができる仕組みや機会をつくることで公園の日常的な利活用を促進するとともに、公園を拠点として人々がつながり、地域が活性化することを目指します。

基本方針3 みんなのお気に入りとなる公園（整備）

- ◆ 地域のニーズや課題を踏まえた公園配置の適正化や公園機能の見直しを行うことで、すべての市民にとって行きやすく、使いたいと思われる公園を増やします。

基本方針1 みんなで支える公園（維持管理）

取組1-1 多様な主体が参画可能な仕組みづくり

管理を委託する団体を区・自治会に限らず、多様な団体や組織など協働の裾野を拡大する仕組みづくりを進めます。

公園	清掃委託の担い手
現状	自治会のみ
将来	自治会、福祉会、老人会、婦人会、子供会、スポーツ団体 等

関連：アドプト・プログラム
自治会や企業が自主的に清掃、除草、花栽培などの美化活動を実施。
参考事例：公園清掃委託制度（船橋市）

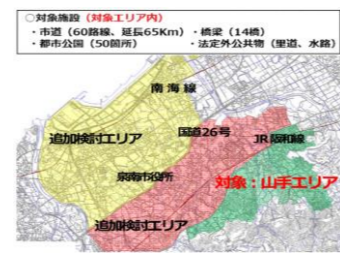
取組1-2 メリハリのある維持管理計画

公園における清掃などの維持管理について、水準・頻度を画一的に決めるのではなく、長寿命化計画やみどりの基本計画等の関連計画や個々の公園の状況、市民の意向調査、地域特性等を考慮して計画・実施していきます。

取組1-3 包括的管理手法等の活用

事務コスト削減や維持管理水準の向上・維持を目的に、一つの事業者に複数の公園の維持管理を委託する包括的管理手法の導入を目指します。また近隣市町村と連携した広域的な管理など、様々な可能性を視野に入れて検討を進めます。

関連：インフラ施設包括的管理業務委託導入検討調査（国土交通省 R5年度先導的官民連携支援事業採択案件）
本市では、別々に維持管理してきた道路、橋梁、公園、法定外公共物等を将来にわたり維持管理できるよう、官民連携による包括的な管理業務委託の導入を検討を進めています。



取組1-4 多様な制度による財源の確保

幅広い市民や事業者からのサポートを得る手段として多様な制度を導入し、財源の確保に努めます。

基本方針2 みんながつながる公園（活用促進）

取組2-1 協働による柔軟な公園活用

市民または事業者等が主体となってイベントや取組みに公園を気軽に、かつ持続的に活用してもらえるような仕組みを検討し、公園と周辺の賑わい創出につなげます。
その取り組みの一環として、事業者等に公園を暫定的に活用してもらうことで、公園の利用可能性を調査する社会実験（トライアル・サウンディング）を実施します。

参考事例：トライアルサウンディング（奈良市）

行政主体の取組みだけでなく、公民連携で一層柔軟に使いこなす新たな発想や仕組みを取り入れ、個性と魅力ある公園空間を創出し、地域コミュニティを活性化するための社会実験（トライアル・サウンディング）を行っています。

取組2-2 公園を活用する人材の育成

公園の維持管理に関わっている人、公園を使って活動したいと考えている人などを対象に、公園に関する知識や技術を学ぶ機会を提供することで、より魅力的な公園づくりを担うことができる人材を育成していきます。また、この取り組みを通して、アドプトプログラム等の地域ボランティアの活動人数や公園の暫定利用を増やすことにつなげます。

取組2-3 公園の魅力や活動の情報発信

公園の魅力や利活用状況を市のSNS等で積極的に情報発信するように努め、公園利用や活動に参画してくれる新たな担い手の増加を促します。

基本方針3 みんなのお気に入りとなる公園（整備）

取組3-1 公園の再整備（民間活力の導入）

既存公園のリニューアルにあたっては、Park-PFIなどの官民連携手法や、民間事業者等のアイデアやノウハウの導入を検討する等、魅力的な公園の整備を目指します。特に利用者が多いと考えられる公園での導入を優先的に検討していきます。

対象公園	各公園の民間活力導入によって目指す整備イメージ	
りんくう南浜公園	子どもが安心していきいき遊べる公園	親子連れの方や小学生の利用者にとって、安心・安全に利用することができるように、清掃などの維持管理を徹底しつつ、休憩スペースや幼児向け遊具などの親子連れのニーズに適した施設の拡充を検討します。
俵池公園	市域山側の多世代の交流拠点となる公園	様々な年代の方が運動を楽しむことができる、市の山側地域において貴重なオープンスペースとなっています。今後は公園の特徴である“広さ”を活かし、公園が持つ機能を増やすことで、多くの市民が様々な目的で集い、交流が生まれる公園を目指します。具体策の1つとして、トイレや休憩施設などの拡充を行い、憩いの場として快適に公園を利用できるようにします。
農業公園「花咲きファーム」	一年を通してみんなに愛される公園	花咲きファームは、本市において自然と触れ合うことのできる貴重な公園となっていることから、いまの良さを活かしつつ、1年を通して市内外を問わず多くの人が訪れる公園を目指します。そのような公園を実現するための取組みの1つとして、子どもの多様な遊びの機会を提供するとともに、遊具等多目的利用の整備も検討します。

取組3-2 公園機能の見直し

公園の機能が現在の利用者や地域のニーズに適しているのが見直し、必要に応じて新たな機能を持たせます。
（例：子どもが多い地域の公園 → インクルーシブ遊具の設置、防災設備が少ない地域の公園 → 防災設備の設置）

利用者が比較的多い公園を優先的に検討していきます。

- ・新家楠台1号公園 ・牧野公園 ・樽井公園 ・新家公園 ・砂川公園 ・砂川第二公園 ・男里公園 ・男里第二公園
- ・鳴滝第三公園 ・一丘公園 ・新家中村公園 等 ※市民アンケート、小学生アンケートの「よく利用する公園」上位より抽出

取組3-3 公園の統廃合

公園配置の適正化を図るため、既存公園については利用状況や地域の話し合い等を踏まえて統廃合を検討します。なお、廃統合のために新たな公園の用地が必要となる場合は、公共施設跡地等を検討します。統廃合後の公園跡地については地域のニーズを反映しながら有効活用します。